

こころの駅舎 がん患者さん “あるある”かわら版

第1号(平成30年2月22日)
「こころの駅舎」発行
(協力:地域連携室あざれあ)

強風注意

No.1 さっちょこ 作



あるあるメモ

がん治療は手術療法、放射線療法、化学療法(抗がん剤など)が挙げられます。抗がん剤を使う場合、副作用として脱毛、吐気などが現れます。女性として脱毛は大問題! 帽子やかつら・ウィッグは、必需品です。風の強い日の外出は、かぶりものに要注意ですよ。



創刊に寄せて



「こころの駅舎」は、平成25年の春から、がん患者さん・家族・支援者の集いの場として始まりました。当初は、東広島地区医師会が年3回、開催していましたが、平成28年度からは、東広島市の委託事業に位置付けられ、毎月開催できるようになりました。参加される方も年々増え、集いの充実に向けて様々なアイデアが出されるようになりました。この“あるある”かわら版もその一つです。がんの不安や悩みを、ここに綴られる体験談を通して勇気と元気に変換することができれば幸いです。




毎月の「こころの駅舎」のご案内

ドアの向こうには、みんなの笑顔が待っています。初めての方も是非ご参加ください。

- 開催日時: 毎月第4木曜日(定期型は出入り自由) 定期型(14:00~18:00) イベント型(14:00~15:30)
- 開催場所: 東広島芸術文化ホールくらら (211・212号室、303号室など) ※部屋は変更の場合あり
- 問い合わせ: 082-493-7360(地域連携室あざれあ)

“あるある”ネタ大募集!!

 がん患者さん・ご家族・支援者を問わず、これまでに経験した、「こんなことあるよね～」という“がん あるある体験”をご紹介ください。

“あるある”かわら版を通してみんなでがん体験を共有することが、“がん”を乗り切る力になれば・・・と考えています。



■ 毎月第4木曜日

■ 開催形態

イベント型（4月、8月、12月）
定期型（上記以外の月）

■ 東広島芸術文化ホール
くらら
東広島市西条栄町7番19号



がん患者による、がん患者のための読み物

がん患者 “あるある”かわら版

第 1 号



一般社団法人 東広島地区医師会
地域連携室あざれあ
電話：082-493-7360
FAX：082-493-7361

